

団体概要書

(その1)

団体名	国際落語振興会	団体の種別 ※いずれかの□にチェックしてください。	<input type="checkbox"/> 公益社団法人 <input type="checkbox"/> 公益財団法人 <input checked="" type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 認定NPO法人 <input type="checkbox"/> 非営利型法人 (公益法人へ移行予定)
代表者の 役職・氏名	(ふりがな) みしまひろゆき 理事長 三島広幸		
主たる事務所の 所在地	大阪市西区江戸堀 1-22-7-602		
設立年月	平成 18 年 7 月	構成員数	22 人
事業年度	4 月 1 日 から 3 月 31 日		
団体の活動 目的	この法人は、国内外で落語の公演等を行うことにより、落語の振興と国際交流を図り、世界の人々が平和で心豊かな生活ができる社会の創出に寄与する事を目的とする。		
活動分野	※下表の芸術文化の中から選択して記入してください。 14 その他の芸術文化 (落語)		
主な活動内容	(1)落語公演開催事業 (2)落語関係出版事業		
これまでの主 な活動実績	※ 具体的かつ直近の活動内容がわかるように記入してください。 桂小春團治ニューヨーク国連本部・カーネギーホール公演 (2010年文化庁助成事業) 桂小春團治フランス公演 (パリ・カンヌ・ヴィルファール、2010年笹川日仏財団助成事業) 「落語とパンソリの夕べ」 (日韓の国立劇場で語り芸の競演。2007年大阪・東京・ソウル) 小学生落語体験ツアーズ (大阪市の小学生をのべ 12,000 人を招待して行った落語体験公演。2007～2011年、文化庁・大阪市助成事業) 児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験 (小学校での落語ワークショップ。2012～2014年、文部科学省委託事業) 敬語落語「丁寧ロボットAL9000」CD発売 (文化庁から依頼された、正しい敬語の使い方をわかりやすく解説した落語)		
ホームページ	有 (URL// http://www1.plala.or.jp/koharudanji/site.top/npoh.html) / 無		
機関紙	有 (機関紙名) / 無		

「活動分野」大阪市芸術文化振興条例第2条にて定義する芸術文化

- 1 音楽 2 演劇 3 舞踊 4 美術 5 写真 6 映像 7 文学 8 文楽 9 能楽 10 歌舞伎
11 茶道 12 華道 13 書道 14 その他の芸術文化

寄附者へのPR等

(その2)

<p>貴団体における現在の課題</p>	<p>現在の活動の2本柱である、落語での国際交流と小学生のための落語鑑賞会は、どちらも助成金なしでは成立しない事業である。</p> <p>しかし助成金も機会均等の原則から何年もらうと受けられなくなったりし、安定した資金調達をする事が難しく、事業が途切れがちになってしまう。</p> <p>また大阪本社の企業も本社機能は東京に移り、協賛などのサポートが大阪ではきわめて受けにくい状況となっている。</p>
<p>貴団体の将来展望 (何をめざしているのか、支援を受けて取り組みたいこと等)</p>	<p>国内外での外国人向けの落語公演による国際交流と、小学生向け落語鑑賞会によって、豊かな想像力を持った子供達の育成を今後も2本柱として活動していきたい。</p> <p>また、一番客層として薄い、サラリーマン・OLが来やすいようにビジネス街での気軽な語会を展開していきたい。</p>
<p>市民等寄附者に対するPR</p>	<p>世界に類のないコメディ「落語」の海外公演は、勤勉だけど冗談を言わないと思われてきた日本人が昔から豊かなユーモアの持ち主であったと、それまでの日本人のイメージを変え、世界の人々が笑い合う、庶民レベルの外交、文化交流となります。</p> <p>また、小学生の落語鑑賞会は、一人で何役も演じ、座ったままで扇子と手拭いだけですべてを表現するイメージ芸「落語」によって、想像力を養い本物の上方文化に接する機会となります。</p>